

第1 地価公示結果における本県地価のポイント

1 令和8年1月1日における本県の地価は、住宅地、商業地、工業地のいずれも5年連続で上昇したものの、上昇率は2年連続で縮小した。

- (1) 平均変動率をみると、住宅地では1.8%（昨年2.3%）、商業地では3.2%（昨年3.7%）、工業地では3.7%（昨年3.9%）上昇した。
- (2) 上昇、横ばい、下落地点数の割合をみると、住宅地では、上昇地点が78.7%（昨年82.7%）、横ばい地点が13.2%（昨年10.1%）、下落地点が8.0%（昨年7.2%）となった。
また、商業地では、上昇地点が87.9%（昨年88.9%）、横ばい地点が8.8%（昨年7.7%）、下落地点が3.3%（昨年3.3%）となった。

2 地域別の地価は、住宅地では、名古屋市、尾張地域、知多地域、西三河地域で上昇率が縮小し、東三河地域は下落であった。また、商業地では、名古屋市、尾張地域、知多地域、西三河地域及び東三河地域の全地域で上昇率が縮小した。

- (1) 地域別の平均変動率をみると、住宅地では、名古屋市で3.1%（昨年3.6%）、尾張地域で1.7%（昨年2.0%）、知多地域で1.2%（昨年1.8%）、西三河地域で1.4%（昨年2.2%）上昇し、東三河地域で△0.2%（昨年0.0%）と下落を示した。
また、商業地では、名古屋市で4.5%（昨年5.0%）、尾張地域で2.9%（昨年3.0%）、知多地域で1.9%（昨年2.0%）、西三河地域で2.1%（昨年3.1%）、東三河地域で0.6%（昨年0.9%）上昇した。
- (2) 市町村別の平均変動率をみると、住宅地では、長久手市など40市町（昨年42市町）で上昇したが、南知多町など7市町（昨年6市町）で下落した。
また、商業地では、大府市など37市町（昨年38市町）で上昇したが、南知多町など7市町（昨年6市町）で下落した。
- (3) 名古屋市各区の平均変動率をみると、住宅地、商業地ともに全ての区で上昇した。

3 最も大きい上昇率を示した地点は、住宅地では、「名古屋東-7（徳川町）」（14.7%）、商業地では、「名古屋中村5-19（名駅南）」（13.8%）であった。

一方、最も大きい下落率を示した地点は、住宅地では、「西尾-32（東幡豆町）」（△4.1%）、商業地では、「西尾5-7（東幡豆町）」（△4.7%）であった。

- (1) 住宅地では、変動率上位5位までの地点は名古屋市東区、熱田区及び千種区の地点となった。
また、商業地では、変動率上位5位までの地点は名古屋市中村区、千種区、熱田区及び大府市の地点となった。
- (2) 住宅地では、変動率下位5位までの地点は西尾市、美浜町及び南知多町の地点となった。
また、商業地では、変動率下位5位までの地点は西尾市、南知多町、常滑市及び美浜町の地点となった。